

第 226 回 ARIB 電波利用セミナー

「海上無線通信の最新動向」

ご 案 内

一般社団法人電波産業会

海上無線通信に関しては、1992 年に GMDSS（海上における遭難及び安全の世界的な制度）の導入が始まってから 30 年以上が経過し、IMO（国際海事機関）や ITU（国際電気通信連合）などの国際機関において、その近代化に向けた議論が行われてきました。

その結果、GMDSS の対象船舶については、遭難・緊急・安全通信に用いられる NBDP（狭帯域直接印刷電信）が搭載要件から削除されたり、GMDSS の衛星システムとしてインマルサット以外のシステムが選択肢に加えられたりするなど、無線通信技術の進展等を踏まえた見直しが行われています。

また、GMDSS 機器以外にも、AIS（船舶自動識別装置）の技術を利用した AMRD（自律型海上無線機器）や AIS 技術を拡張したデータ通信システムである VDES（VHF データ交換システム）など、GMDSS の近代化の議論に際して導入が検討された機器があり、国内でもこれらの導入に向けた制度整備の検討が進められています。

このほか、国内外の情勢を踏まえた対応も進められるなど、海上無線を取り巻く環境は変化しつつあります。

そこで、今回の ARIB 電波利用セミナーでは、総務省総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課課長補佐の福川優治様をお迎えして、国内外の状況と今後の対応の方向性など、海上無線通信の最新動向についてご講演いただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 2026 年 11 月 26 日（木）16 時から 17 時まで
- 2 場所・形態 : オンラインセミナー（Zoom ウェビナー使用）
- 3 題 名 : 「海上無線通信の最新動向」
- 4 講 師 : 総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課
課長補佐 福川 優治様
- 5 参 加 者 : 180 名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
ARIB正会員、賛助会員対象
- 6 申 込 先 : 当会ホームページの「講演会等開催案内」よりお申込みください。
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 7 参 加 費 : 無料
- 8 問合せ先 : ARIB電波利用セミナー事務局 大塚、角埜
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar@arib.or.jp

以上